

七転八起

2012.12月 株式会社富士飼料

“現象の見極め”

実は全ての理由が不景気だからではないという事。外食産業（ex ファミレス）が衰退しているのは景気が悪いから、人口が減っているから、ではない。という記事を読みました。

ファミレスに行っていたお客様が、違うニーズの新しいスタイルに向かったから。家族で食事をするなら、回転寿司、カレー、ラーメン等の専門店へ。知人とゆっくり話したい時はスタバ、ドトールで。子供の誕生日を祝いたい時は、自宅で宅配ピザとヨークベニマルのパーティーセット。その時その時のニーズに合わせて消費者が賢く、楽しく選択しているのです。決して不景気と、値段が高いからファミレスに行かなくなった訳ではないという事です。他のニーズに負けただけなのです。

経営している上で見間違っただけではない現象です。企業の生き残りは、基本となる不変の物と、変化に対応していく柔軟性と革新が必要で、その為に創造を怠らない事。来年の私の重要テーマです。

代表取締役 小松浩義

【冬至について】

冬至とは二十四節気の一つで、一年で最も昼が短く夜の長い日です。現在の暦では12月22日頃となり、昔の暦では冬の真ん中で太陽が一年中で最も南から射し、この日を境に日脚は徐々にのびていきます。世界ではこの日をよみがえりの日とする民族も多くあり、日本では冬至がゆ、冬至かぼちゃを食べたり、ゆず湯に入ったりする習慣が根強く残っています。

畜産農家さんにおきましては暗くなってからの作業には事故のないよう十分注意して頂きたいと思います。
(宮城県南「養牛」担当：佐藤研治)

【次回改定の動向】

10月改定は、大幅な値上げとなったものの、飼料安定基金補てん金発動により急場を凌ぎました。そろそろ1月改定の動向が気になります。

現状では「原料穀類価格安定傾向」「円安傾向(マイナス要素)」の要因から『若干の値下げ』と見られています。しかし、補てん金財源の逼迫から、どの程度補てん金発動となるのか、予断を許しません。

12月第一週から農水省と商系メーカー各社のヒアリングが開始されます。注意深く情報収集し、お客様に情報フィードバック致します。

ちなみに、最近の原料事情から、1円円安になると、コーンだけで約250円の値上げになる換算です。

(宮城福島山形担当：二瓶洋一)

スタッフ紹介

【小松 浩義】

(こまつ ひろよし)

【代表取締役】

- S37.9.10 生(50 歳) 岩沼市在住
- 妻、長女 23 歳(銀行員) 長男 18 歳(高 3)
- 好きな人物：
城山三郎（作家）、ブルース・リー、土方歳三
- お客様と共に「100 年企業」を目指します！



社員の心掛け（12月）

- 「今の結果は、過去の実績」 小松
- 「上手くいかないことは、己のせいである」 津田
- 「念入りに、しかも早く」 二瓶
- 「仕事量＝結果とはならない。結果に繋がる仕事をする」 松浦
- 「一年の反省点をまとめ、修正、改善し来年につなげる」 佐藤
- 「頭を柔らかくする」 斎藤